

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 世田谷区立中里小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 154-0024
世田谷区立三軒茶屋1-4-1

E-mail : dai014@setagaya.ed.jp

Website : http://www.setagaya.ed.jp/nato/index.htm

児童生徒数：男子 95 名 女子 72 名 合計 167 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉 多文化理解)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

研究主題「人とのかかわりを大切にし、ともに伸びる児童の育成」
～持続可能な発展のための教育（ESD）を通して～

1 研究主題について

児童自身が自然や社会、様々な立場や考えをもつ人々と自ら進んでかかわる姿勢を育むことを目指している。

自然や社会、様々な立場や考えをもつ人々とのかかわりを大切にし、児童がその中で協働し、課題解決学習に取り組むことが、進んでかかわろうとする態度の育成につながると考えた。

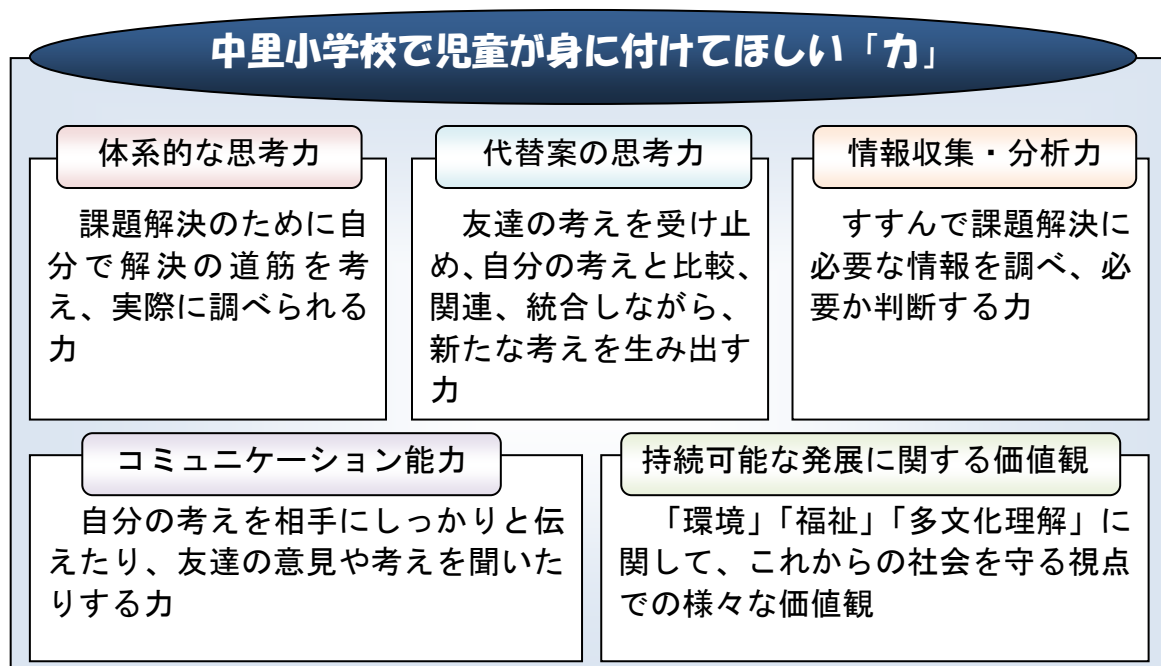
そこで、本校の教育活動を持続可能な発展のための教育（ESD）の視点から見直し、「人・自然・社会」とのかかわりを大切にしながら取り組んでいくことで研究主題に迫ることができるのではないかと考えた。

2 持続可能な発展のための教育（ESD）の趣旨と身に付けさせたい資質能力

本校では、ESDの趣旨を次の3つと捉えている。

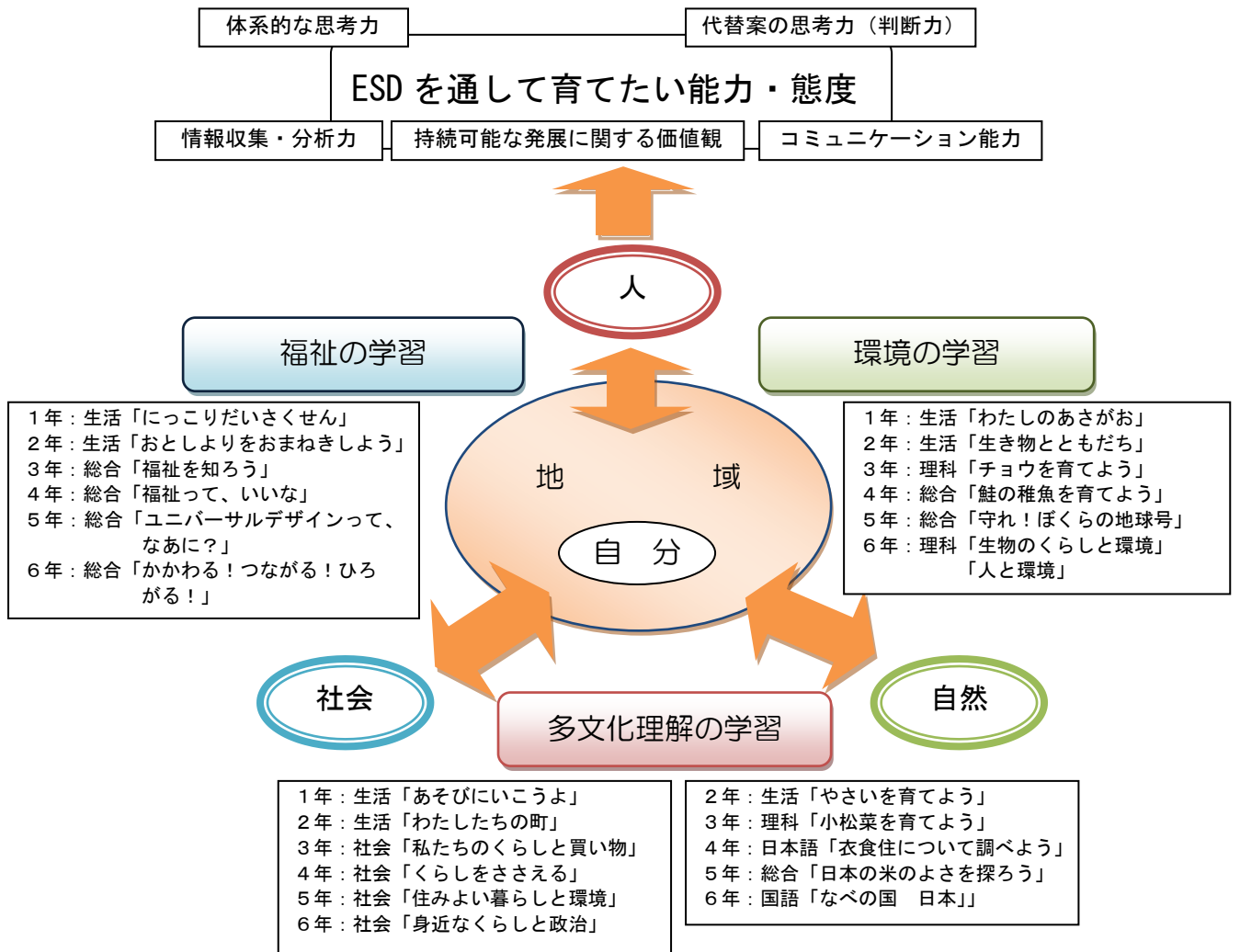
- ① 持続可能な社会を構築するための担い手を育む。
- ② 体系的な思考力、代替案の思考力、情報収集・分析力、コミュニケーション能力、持続可能な発展に関する価値観を身に付けさせる。
- ③ 人や自然、社会との「かかわり」や「つながり」を理解し、それらを尊重しながら協働で課題解決に取り組むことができる児童を育てる。

本年度は、「②体系的な思考力、代替案の思考力、情報収集・分析力、コミュニケーション能力、持続可能な発展に関する価値観を身に付けさせる。」を重点的に取り組むことにした。そして、学習活動の中に、意図的にコミュニケーション能力を高める場面を取り入れた。



3 中里小学校の持続可能な発展のための教育の実践

持続可能な発展のための教育は、発達段階に応じた系統性をもたせるとともに各学年の教育活動を横断的に実践することが重要である。そこで、各学年ESDカレンダーを作成し、見直しをもった教育活動を行った。



4 ESD カレンダー【抜粋】

第2学年 ESDカレンダー 世田谷区立中里小学校

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語		つばめのすだち				見て、聞いて、さわって	たねのたび				
算数								夏野菜(トマト、きゅうり、なす、ピーマン、カボチャ、サツマイモ) 冬野菜(大根、ラディッシュ、小松菜)			
生活	わたしの町	わたしの町をたんけんしよう	やさいをそだてよう				電車で乗って出かけよう	生き物と友だち	わたし大すき		
道徳	郷土愛	自然愛				命を尊重	思いやり		郷土愛	家族愛	
音楽	うたでともだちのわをひろげよう										
図工											
体育											
日本語	漢詩	季節を感じることばを探そう	論語	短歌	短歌・漢詩	俳句	俳句				

福祉の学習
 環境の学習
 多文化の学習

5 成果と課題

○ESD カレンダーに基づき教育活動を展開することで、「福祉」「環境」「多文化理解」の教育課題を教育活動において、関連付けて指導することができた。それにより、発達段階に応じた力を身に付けることができた。

